

インドネシア共和国バリクパパン市における 泥炭・森林火災の消火技術普及モデル事業

シャボン玉石けん、モリタ、モリタホールディングス、北九州市立大学、北九州産業学術推進機構
JICA「草の根技術協力事業(地域経済活性化特別枠)」(2013～2015年度) ③4

■バリクパパン市の主要水源であるマンガー湖周辺をモデル地区とし、泥炭・森林火災の発生状況や、現地の消防組織の資機材、消防士の消火技術等に関する実態調査を行う。

【アウトプット①】現地に適した泡消化剤の開発を行うとともに、消火用資機材を提供するなど、消火方法の検討や消防士に対する消火技術の研修を実施する。

【活動】

- ①-1 現地の泥炭・森林火災に関する実態調査
- ①-2 現地の土壌性状および河川、地下水の性状把握
- ①-3 現地の水を用いた泡消化剤による消火実験
- ①-4 消火技術の普及の為に日本国内での研修
- ①-5 ①-1～3で得た結果をもとに現地での最適な消火方法の検討と消火技術のアドバイス



【アウトプット②】住民の防火に対する知識・意識の向上を図り、消火・防火体制の改善や地域コミュニティづくりを目指す。

【活動】

- ②-1 住民参加に関する基本調整と方向性検討
- ②-2 周辺住民を含めた防災研修の実施
- ②-3 初期消火に寄与する情報システムの構築
- ②-4 バリクパパン市モデル地区以外の地域でのセミナー等を企画・開催

